

[069]九州大学大型計算機センターニュース : No. 69

<https://doi.org/10.15017/1477873>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 69, pp.1-4, 1973-12-18. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1973.12.18

九州大学 大型計算機センターニュース

No.69

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ 支払責任者登録年度更新の手続きについて	1
◇ UNICS プログラムの障害修正について.....	1
◇ カードの保管方法、取扱上の注意について.....	2
◇ 穿孔機の効率的な利用方法について.....	3
◇ ALGOL ソースプログラムの入力方法について.....	3
◇ 複数のジョブステップでカード出力する場合の注意事項	3
◇ カード枚数の多いジョブの計算依頼について(変更)-----	3

◇ 支払責任者登録年度更新の手続きについて

現在支払責任者登録をされている方で、49年度もひきつづき支払責任者として登録される方は、支払責任者登録の年度更新申請を行なってください。申請されなかった場合は、支払責任者番号は49年3月31日で取消され、それに関連する課題登録の年度更新は認められませんのでご注意ください。

『支払責任者登録年度更新届』の受付期間は、49年1月10日～2月9日になっていますので各連絡所にある所定の用紙に必要事項を記入の上、連絡所を通じてセンターへ提出してください。

◇ UNICSプログラムの障害修正について

センターニュース№66でお知らせしましたUNICSプログラムの障害について、下記のとおり1部が修正され使用可能となりましたのでお知らせいたします。

なお、残りのプログラムにつきましても修正が済み次第お知らせしますので、センターニュース、掲示物にご注意願います。

記

登録番号	I D コード
9 1	Y 1 / Q C / Z / R L C 3
9 2	Y 1 / Q C / Z / R W S 3
* 9 3	Y 1 / Q C / Z / R O F 3
* 9 4	Y 1 / Q C / Z / R D F 3
9 5	Y 1 / Q C / Z / T R C L
* 9 6	Y 1 / Q C / Z / A F I U
* 9 7	Y 1 / Q C / Z / R O R 3
9 8	Y 1 / Q C / Z / I N C R
9 9	Y 1 / Q C / Z / D T R 3
1 0 0	Y 1 / Q C / Z / O S F D
1 0 1	Y 1 / Q C / Z / S G M A
1 0 2	Y 1 / Q C / Z / S F R 5
* 1 0 3	Y 1 / Q C / Z / R S S A
1 0 4	Y 1 / Q C / Z / R D L S
1 0 5	Y 1 / Q C / Z / F L S 4
1 0 6	Y 1 / Q C / Z / Z H F M
1 0 7	Y 1 / Q C / Z / R T E 2
* 1 0 8	Y 1 / Q C / Z / R B P 3
1 0 9	Y 1 / Q C / Z / R D A 4
1 1 0	Y 1 / Q C / Z / R M V 4

*印のついているものが現在使用可能です。

◇ カードの保管方法・取扱い上の注意について

現在センターのカードリーダーは1,800枚／分というスピードで読んでいるために、変形しているカードや、エッジ（表を前にして左端）の傷んでいるものは、リードエラーやカードジャムの原因となります。これは、利用者の方への迷惑はもちろん、操作上のトラブルを起こすことにもなり、業務に支障をきたします。つきましては、簡単にカードの保管方法などを次項にあげますので、各自ご留意のうえ、保管ならびに取扱いについて、ご協力願います。

A. カードの保管方法

- 1) 保管場所 温度 5 ～ 35℃、湿度 30 ～ 70% が好ましく直射日光、通風の激しい所、冷暖房装置の付近はさけてください。
- 2) 保管方法 カードキャビネットに入れて均等に圧力をかけておく、キャビネットがない場合には、カードの表側を下にして水平になるようにおいてください。
また、長期間になるときは、輪ゴムなどはかけないようにしてください。

B. カードの取扱い方法

- 1) カードの取扱いは丁寧に行ない、特にエッジを傷つけないようにする。
- 2) 油類や埃がつかないようにする。
- 3) 常に点検して傷んでいるもの、変形しているものは複製してください。

◇ カード枚数の多いジョブの計算依頼について（変更）

現在、昼休み中や受付窓口を閉めた後のジョブ依頼は、備え付けのキャビネットに入れてもらっていますが、12月25日よりカード枚数の多いジョブについては、キャビネットに入れないで、紙ケースに入れた後カウンターの上に置いて依頼されるように変更いたしますのでご協力ください。なお、他のジョブに関しましては従来どおりとします。

◇ 穿孔機の効率的な利用方法について

年末は、オープンパンチ室、デバック室の穿孔機は空時間がない程混みあい、利用者の方にとっては穿孔機の確保にやつきになられる時期です。かぎりある穿孔機を多くの利用者の方が利用出来るように、穿孔修正カードをピックアップしておくなどして占有する時間が短縮出来るようご協力願います。

◇ ALGOLソースプログラムの入力方法について

ALGOLのソースプログラム入力ファイルとしては、カードまたは大記憶の順編成ファイルおよびLIBE形式で作成された磁気テープファイルとなっており、大記憶の分割型順編成ファイルは使用できません。

従って、\$ALGOLのパラメータ ELMNAME=(エレメント名,.....)の指定は、磁気テープファイル中のソースプログラムをコンパイルするときに有効となります。

◇ 複数個のジョブステップでカード出力する場合の注意事項

カード出力のための制御文\$SYSPCHを複数個のジョブステップに使用する場合は各々

にMACROSTEPのパラメータを指定しなければ正常な結果が得られません。

例

```
.....  
$FORTRAN  
.....  
$LIEDRUN  
.....  
$SYSPCH  
$FORTRAN MACROSTEP=1  
.....  
$LIED  
.....  
$RUN  
.....  
$SYSPCH MACROSTEP=1  
.....
```